



Group Mission: *Engineering for Sustainable Growth of the Global Community*
Group Vision : *Global Leading Engineering Partner*
Group Values: *Integrity, Creativity, Diversity, Learning, Team*

経営方針

2011年3月期 決算説明会

2011年5月13日

取締役社長 山田 豊

 東洋エンジニアリング株式会社

1. 2010年度受注概況
2. 経営課題
3. 市場環境と注力分野
4. 重点施策
5. 2011年度受注目標
6. 今後の業績見通し

1. 2010年度受注概況

【受注額】

- ・2, 225億円(受注目標2, 800億円)
- ・期ズレ案件を加え3, 000億円超

【主な受注案件】

- ・ブラジル(FPSO)^(注)
- ・タイ、アゼルバイジャン(発電)
- ・インドネシア(肥料)
- ・オーストラリア(CBM-LNG(FEED))^(注)

(注) FPSO: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(Floating Production, Storage and Offloading)の略

CBM: 非在来型ガス資源の一つである、石炭層の中や周辺から採掘されるメタンガス(炭層メタン: Coalbed Methane)の略

FEED: プラント設計において、基本設計から詳細設計に適切に橋渡しをするための設計業務(Front-End Engineering and Design)の略

2. 経営課題

- ・2010年度に続く受注拡大による業績回復
- ・急速な市場の変化に対応した案件の開拓
- ・成長戦略の策定（次期中期経営計画）

3. 市場環境と注力分野

市場環境

競争の激化

新興国の成長

人口の増大

注力分野

資源エネルギー開発
(Upstream)

インフラ

肥料

4. 重点施策

- ・顧客基盤の強化・・・更なる現地化
(Global Toyo オペレーション体制の拡大)
(顧客密着による海外拠点での受注増)
- ・事業領域の拡大・・・新地域の開拓
(サブサハラ、カナダ、イラクなど資源国)
- ・中小型GTL^(注)、中規模LNG・・・新規商品

(注)GTL: Gas to Liquidsの略。石油より可採年数の長いガス資源から、液体燃料などを作る技術

5. 2011年度受注目目標

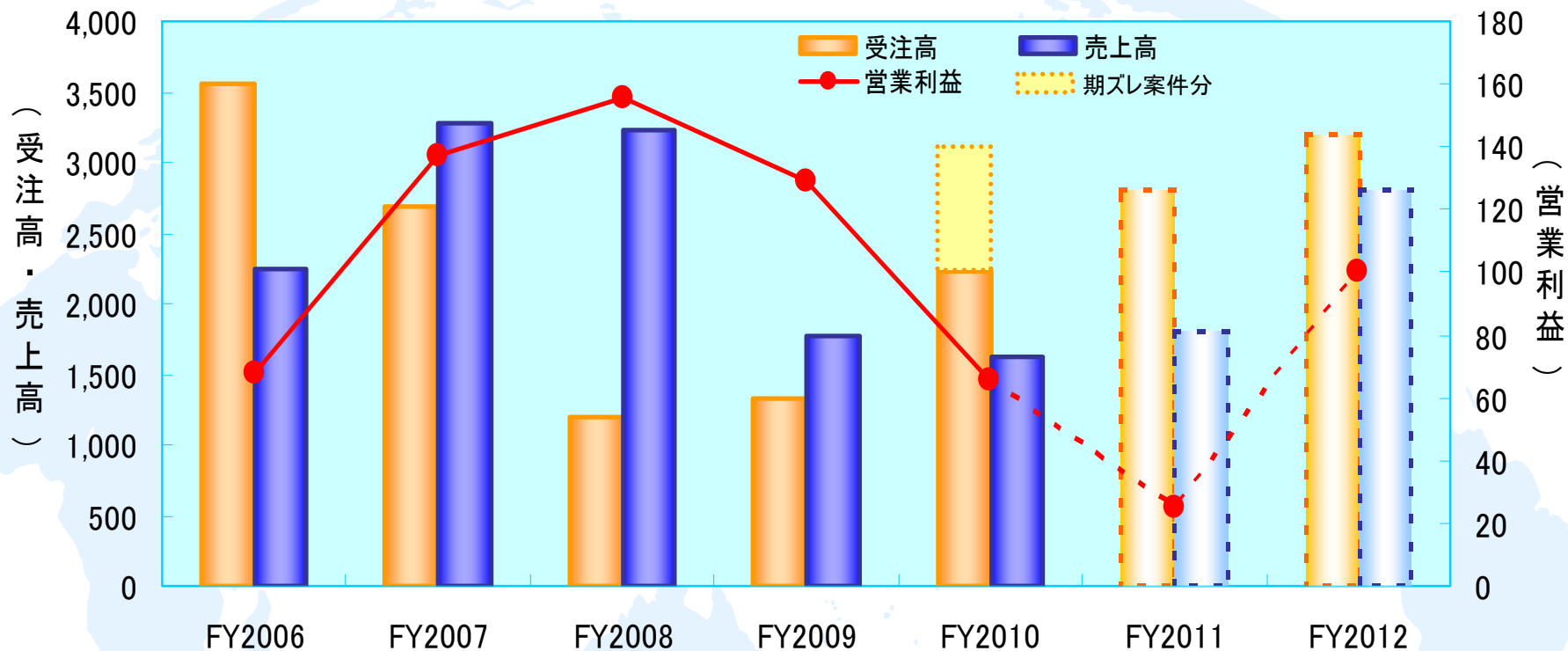
受注目目標額: 2,800億円



■ 上流分野(Upstream)
 ■ インフラ
 ■ 肥料
 ■ 下流分野 (Downstream)

6. 今後の業績見通し

(単位: 億円)



(注) 2011年度以降の業績予想及び見通しについては、確定しているものではありません。
2010年度受注額グラフには、期ズレ案件分を含みます。



Global Toyo
th
Anniversary
つなげる技術、つながる未来

【お問い合わせ先】

 **東洋エンジニアリング株式会社**

URL <http://www.toyo-eng.co.jp>

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-8-1

広報・IR室 IRマネージャー 佐久間和博

電話 047-454-1681

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。